

くろしず
あっぷ

身長145以下以下の女性を美しく見せる「美小柄」を広めている。痩せ気味やぼっちゃり体形、猫背などで悩む小柄女性のため、正しい姿勢や歩き方を指導する「美小柄塾」を主宰。20日には横浜・元町発祥の「ハマトラ」などを用いた小柄女性によるファッションショーを開く。「小柄を前向きに捉え、自分を愛せるようになってほしい」と笑顔をはじけさせる。

横浜市青葉区在住。2003年に結婚し、2人の男児の母親でもある。自身も身長145、靴のサイズは22・5センチ。洋服は5号か7号サイズだ。身長が低めで痩せ形のため、服のサイズが少なく、着ても様にならないと思い地味な格

美小柄プロデューサー 広瀬 淑子 さん 38

背の低い女性を美しく

好ばかりしていた。一方、145あった母は見栄えし、その違いがコンプレックスになっていた。

活動のきっかけは、あるファッションショーで「なぜモデルは背の高い人ばかりなのか」と疑問を感じたこと。「低い人がモデルになれば面白

い。小柄でも美しくありたい」。そんな心の声に従おうと思った。それに、「ママでもない、妻でもない、自分という存在がどこまでできるのか試したい」という気持ちもあった。なぜなら、結婚したら「誰々の奥さん」、子供を産んだら「誰々君のママ」と

見られてきたから。

14年2月、36歳で一念発起し、美小柄の活動を始めた。

最初に取り組んだ座談会では小柄女性を集めて悩みを聞き、「子供サイズしかない」

「21、21・5センチの靴がない」「体に合うエプロンがない」といった「小柄あるある」で盛り上がった。同年5月、小柄女性のファッションショーを初開催すると、「小柄でもモデルになれるんだ」と反響

が広がり、インターネットに公開した動画も人気を集めた。

昨年4月に始めた美小柄塾では、タカラジェンヌらを講師に迎え、ウォーキングなどを指導する。小柄ファッションのポイントを聞くと、「全

体的なバランスが大事」。全身黒でまとめる人も多いが、黒は「収縮の色」だ。バッグに明るい色を持つてきたり、大ぶりのイヤリングをつけたり、赤の靴でアクセントをつけるなどして工夫している。

8歳と5歳の子育てに奮闘中で、子供が眠った夜半から仕事をこなす日も。活躍の裏で苦労は多いが、それでも「一人でも多くの小柄さんが美しくなれるようプロデュースしたい」という熱意は変わらない。「横浜から全国に『美小柄』を広げたい」と、きゃしゃな体の奥に大きな夢を秘めている。(岩島佑希)

◇ ファッションショー「横浜コレクション」は20日午後2時半から、YCCヨコハマ創造都市センター(横浜市中区)で開催。詳細はホームページ(<http://yokohama-collektion.com/>)を。

